

兵庫県南部地震被災地における9大学合同交通量調査の概要

内田 敬* 飯田 克弘**
Takashi UCHIDA and Katsuhiro IIDA

1. はじめに

兵庫県南部地震被災地の復興のために、被災地区内および外部の交通状況を把握することが重要であると考え、研究者および学生が、それぞれの立場から様々な調査・研究を実施してきたが、その中で交通の全体状況を把握することに関しては合同で行うのが良いとの考えから、被災地域の主要ポイントを分担し、自主的な道路交通量調査を行っている。

本稿は、京阪神地区を中心とした9大学（京都大学、大阪大学、神戸大学、神戸商船大学、筑波大学、近畿大学、大阪産業大学、立命館大学、名古屋大学）15研究室の協力で行われている、この合同交通量調査の概要を報告するものである。

2. 調査概要

この合同交通量調査の概要を以下に示す。

(1) 調査時刻

原則として8:00～18:20

（ただし、1995年5月31日実施の調査は24時間）

(2) 調査内容／方法

(a) ビデオ撮影（原則として連続撮影）

・アングル決定の際の優先順位

- 1) 神戸都心に対して流入、流出する車種別交通量を判読可能なように撮影。
- 2) （可能ならば）積み荷が判るように撮影。

(b) 交通量カウント

- ・毎時00分～20分。
- ・前半10分は神戸都心流入方向を観測し、後半10分は神戸都心流出方向を観測。
- ・車種区分は以下に示す通り。
 - 1) 乗用車（ワゴン、バンを含む）
 - 2) トラック（トレーラー、建設重機を含む）
 - 3) バス（マイクロバスを含む）
 - 4) 緊急車両（警察、消防・救急、自衛隊。ただし電気・ガス等の緊急工事車両は除く。）
 - 5) バイク（白バイ、自衛隊バイク等も含む）

(c) 路側での聞き取り調査

- ・交通状況（渋滞）・人員配置が許す範囲内で実施。
- ・午前・午後それぞれ1時間づつ程度（30～40台程度）の実施が望ましい。

・調査項目は限定せず、ドライバーとの会話内容は全て記録する。また所要時間も可能ならば尋ねる。

(3) 調査日時・地点

1995年6月1日までに行われた全ての調査の日時と地点の一覧を表-1に示す。また図-1は調査地点を地図上に表したものである。

3. 調査結果とその公開方法

各地点ごとの調査結果は集計・整理した後、Internetの通信形態の一つであるWWW（World Wide Web）を用いて公開している（WWWサーバのアドレスは、<http://www.term.kuciv.kyoto-u.ac.jp/EQtc.html>）。

情報としては、交通量カウント結果に基づく時間帯別交通量、およびそれを路線ごとに要約したグラフなどからなる交通量関連データのほか、交通量調査地点の写真、交通状況写真および交通状況ビデオ【QuickTime/MPEG】などが掲載されており、ほとんどのデータが直接入手可能になっている。

このような方法をとっている理由は、高い公開性を有し、データの散逸を防ぐと同時に種々のデータをリンクさせるのに効果的だからである。一例を挙げると、上述した「交通量調査地点の写真」を選択すると、まず各調査日ごとに調査地点の写真が表示され、さらにその写真を選択すると、該当する交通量データが表示されるように構成されている。

4. おわりに

この合同調査は今後も継続的にを行い、その結果も随時公開していく予定である。また同時に、これまでに撮影されたビデオの読み取り結果や、調査結果に基づく提言・研究成果も共有可能な情報としたいと考えている。

この合同交通量調査に参加している9大学15研究室は、京都大学工学部交通土木工学科起終点施設学研究室、交通施設計画研究室、都市交通工学研究室、同土木工学科土木計画学研究室、大阪大学工学部土木工学科都市・交通工学研究室、神戸大学工学部建設学科交通工学研究室、神戸商船大学商船学部輸送システム工学講座、近畿大学理工学部土木工学科都市交通工学研究室、大阪産業大学工学部土木工学科土木計画学研究室、交通工学研究室、同環境デザイン学科環境造景研究室、立命館大学理工学部環境システム工学科交通システム研究室、名古屋大学工学部土木工学科土木計画学研究室である。

また、新神戸トンネル賃料金所における調査では、神戸道路公社賃料金所に全面的な協力を頂いた。ここに感謝の意を表します。

キーワード：兵庫県南部地震、交通量調査

*正会員、博士（工学）、京都大学講師、工学部交通土木工学科

**正会員、博士（工学）、大阪大学助手、工学部土木工学科

表一 京大、阪大、神戸商船大、筑波大、近畿大、大阪産業大、立命館大、名古屋大合同交通量調査 調査日時・地点一覽
(1995年2月3日～6月1日)

[illegible]

